



SIKKUI KURUMU SOTO

# 漆喰くるむ<sup>®</sup> 外

「漆喰くるむ-外」はいつまでも白く、美しい。  
汚れ・カビ・藻を寄せ付けず、  
熱を遮ることで快適な住居空間を提供する。  
これまでの常識をくつがえす漆喰。



## その1

### カビや藻から、まもる

漆喰外壁の黒ずんだ汚れは、カビや藻によるものです。黒ずみの原因であるカビや藻を寄せつけない漆喰、これが「漆喰くるむ-外」です。従来の外装用漆喰より、格段に優れた**防カビ性と防藻性**を有しております。

## その2

### 汚れから、まもる

水との親和性が高い「漆喰くるむ-外」の壁は、汚れを雨水によって浮きあげ、一緒に流す「**洗浄効果**」に優れております。誰がみても綺麗であり、いつまでも美しい漆喰壁が「漆喰くるむ-外」です。

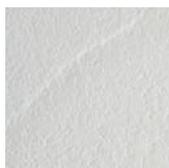
## その3

### 熱から、まもる

「漆喰くるむ-外」の壁は、熱に変換される光を効果的に反射することで、**室内温度の上昇を抑える効果**があります。いつまでも心地よい住居空間をつくれます。

暮らし、くるむ。  
暮らし、まもる。

**Colors** 仕上げパターンの一例です。印刷の色見本のため、実際の色調とは異なる場合があります。



白 / White



クリーム / Cream

設計単価(税別)

**5,000円/㎡**

上塗り材のみ(上塗り材+シーラー)の材工単価です。  
下地材・下塗り材は含まれません。



**NET 18kg** 標準塗り厚 約1.2mm/約9㎡

標準仕様					
商品名	適用部位	標準塗り厚	適用下地	荷姿	施工面積
漆喰くるむ-外	外壁	約1.2mm <sup>※1</sup>	モルタル・コンクリート・アクリル塗料・ウレタン塗料 アクリルリジン・セメントリジン 合成樹脂エマルジョン系仕上げ材・漆喰など	18kg (プラスチック缶)	約9㎡/缶 <sup>※2</sup>

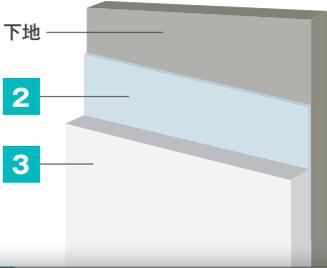
施工についての詳細は裏面をご確認ください。

※1・※2: パターンや下地の状態によって前後します。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1502024
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

### 新築の場合

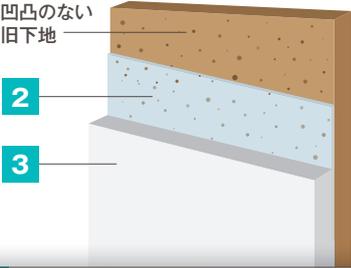
モルタル下地・コンクリート下地



- 下地の点検**  
脆弱部、レイタンス、汚れ等を入念に除去し、健全な下地状態としてください。
- シーラー塗布**  
下地面全面にNPシーラック3倍液 (NPシーラック1:2清水) を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。
- 上塗り** (下ごすり/仕上げ塗り)  
「漆喰くるむ-外」を、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。  
※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。
- 養生**  
施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風があたる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。  
最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

### 改修の場合 [下地の凹凸なし]

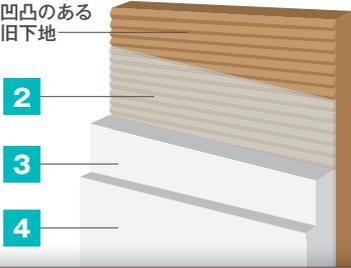
アクリル塗料・セメントリシン・漆喰など



- 下地の点検**  
脆弱部、汚れ等を入念に除去し、健全な下地状態としてください。旧塗膜に浮きや剥がれがある場合は、必ず除去し、凹凸が発生した場合は【改修の場合 [下地の凹凸あり]】に従ってください。
- シーラー塗布**  
下地の吸い込みが激しい場合は、NPシーラック3倍液 (NPシーラック1:2清水) を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。
- 上塗り** (下ごすり/仕上げ塗り)  
「漆喰くるむ-外」を、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。  
※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。
- 養生**  
施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風があたる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。  
最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

### 改修の場合 [下地の凹凸あり]

アクリル塗料・セメントリシン・漆喰など



- 下地の点検**  
脆弱部、汚れ等を入念に除去し、健全な下地状態としてください。旧塗膜に浮きや剥がれがある場合は、必ず除去してください。
- シーラー塗布**  
下地の吸い込みが激しい場合は、NPシーラック3倍液 (NPシーラック1:2清水) を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。
- 下塗り**  
「漆喰くるむ-外1:白竜(寒水石)1厘1:水0.1(目安)」の割合で調合し、ハンドミキサー等で良く練り混ぜてください。練り混ぜた材料を塗り付けて、下地の凹凸を平滑にしてください。  
※1回の塗り厚は3mmを上限としてください。それ以上厚く塗り付ける場合は、数回に分けて塗り付けてください。また、塗り重ねる場合は、事前にNPシーラック3倍液を刷毛やローラーでムラなく塗布してください。  
上塗り(工程4)までの養生期間 ■通常期12時間以上 ■冬期24時間以上
- 上塗り** (下ごすり/仕上げ塗り)  
「漆喰くるむ-外」を、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じてパターン付けを行ってください。  
※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。
- 養生**  
施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風があたる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。  
最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による試験結果

試験項目	単位	漆喰くるむ-外	品質基準* 1</th
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	—	ひび割れなし	ひび割れないこと
付着強さ	標準養生	2.9	0.5以上
	浸水後	2.8	0.3以上
温冷繰り返し	—	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし 著しい変色なし	ひび割れ、剥がれ及び膨れがないこと 著しい変色がないこと
耐衝撃性	—	ひび割れ、著しい変形 及び剥がれなし	ひび割れ、著しい変形 及び剥がれがないこと
耐アルカリ性 (A性)	—	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出し 浸さない部分に比べて、 著しくもろみ及び変色なし	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び 軟化溶出しがないこと 浸さない部分に比べて、 著しくもろみ及び変色がないこと

\*1: 外装薄塗材Eを参考

記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

各種下地材に対する付着性

下地の種類	詳細	JIS A 6909 (標準養生)		JIS A 6909 (温冷繰り返し)	
		付着強さ (N/mm)	試験後の状態	付着強さ (N/mm)	試験後の状態
モルタル	JIS A 6909 複層仕上材RS適合品	2.9	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし	2.2	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし
水系アクリル塗料		2.9	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし	2.2	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし
水系ウレタン塗料		2.8	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし	1.8	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし
油性塗料		2.6	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし	1.1 (油性塗料内部破壊)	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし
溶剤系ウレタン塗料		2.5	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし	2.6	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし
エマルション系塗材	JIS A 6909 外装薄塗材E適合品	2.6	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし	1.4	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし
漆喰	既調合漆喰	0.6 (漆喰内部破壊)	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし	0.2 (漆喰内部破壊)	ひび割れ、剥がれ及びひび割れなし

施工上の注意

■気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。■本製品保管の際は凍結厳禁です。一度凍結したものは使用できません。■本製品は既調合品であるため、現場での練り混ぜ及び水を足しての練り直しは絶対に行わないでください(下地の凹凸を均すための下塗りは除く)。■施工前に必ず試し塗りをを行い、パターンの付け方、仕上がり、および、乾燥具合の確認を行ってください。■本製品は自然素材です。塗り方、気象条件、製造ロットなどによっては、若干色差の出る場合があります。■極端にパターンに凹凸がある場合、また気温・湿度・風などの施工環境によっては、ひび割れが発生する恐れがあるため注意してください。■製造年月日を確認し、製造日から12カ月以上のもは使用しないでください。■材料が余った場合は、表面が空気に触れないように付属のラップフィルムを余った材料の上のせ、容器を密封して凍結しない陰暗所で保管してください。

お問い合わせは



日本プラスター株式会社

本社・工場 / 〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2  
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851  
西日本営業所 / 〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170  
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032